



まなび舎

東京都立港特別支援学校長



岡戸 良雄

No. 12

一年間の学習のまとめの時期となりました

校長 岡戸良雄

3月を目前に迎え、春の訪れを実感できる季節となってきましたが、春本番のような日もあれば、冬に逆戻りしたような日もあります。寒暖差が大きい日も続いております。空気も乾燥しており、感染症の流行も心配されています。皆様も体調管理にはお気を付けてください。

本校の生徒は、卒業や進級に向けて、それぞれ今年一年の学習のまとめを行っているところです。御家庭におかれましては、引き続き、充実した学校生活を送るために、生徒の体調管理等に御協力をお願いいたします。

2月に開催いたしました「ギャラリーみなと」や「授業参観」には、保護者の皆様に多数御来校いただき、日頃の学習の様子を御参観いただきました。各作業種からの販売にも多くの皆様がお買い上げいただき、ありがとうございました。参観した皆様からのお言葉は生徒一人一人にとって大きな励みになったことと思います。ありがとうございました。引き続き御愛顧よろしく申し上げます。

普通科、職能開発科における令和8年度入学許可予定者の発表がありました。来年度の普通科は83名、職能開発科は20名の新入生を迎えることになりました。

在校生の皆さんは4月の入学式で新入生を温かく迎えてほしいと思います。また、かっこよく、頼りになる、クールな先輩になってください。

3年生は学校生活が残すところ一か月となりました。残り一か月の間にやり残したことや思い残したことがないように過ごしてほしいと思います。

卒業したとしても港特別支援学校はいつまでも皆さんの母校であることは変わりません。卒業式まで体調を整えて卒業の日を迎えましょう。

ギャラリーみなとを終えて

総務部 大石 浩輔

2月10日～2月14日に「ギャラリーみなと」が開催されました。今年もPTA役員の皆様による受付の御協力もあり、無事に終えることができました。生徒会役員生徒が決めた「心に残れ！ギャラみな2025」をスローガンに掲げて生徒たちは作品制作に臨みました。普通科1年生は移動教室の思い出を中心とした作品が並び、普通科2年生は修学旅行の思い出を中心に彩り鮮やかな作品の数々、普通科3年生は港での3年間の思い出を形にして宝箱に詰めた共同作品を制作し、それぞれの思い出を表現しました。職能開発科は日々の学習の成果が見て取れる個性豊かな作品が多く、見応えのある展示となりました。作品一つ一つに生徒たちの想いが沢山詰まっており、見ていただけた方や生徒たちにとっても「心に残る」展示となったのではないのでしょうか。御来校くださった皆様、ありがとうございました。